

第4学年 道徳

学期	学習計画(全35時間)	時数	
前期	目ざまし時計	1	1 主として自分自身に関する事。 (1) 自分でできることは自分でやり、節度のある生活をする。
	やさしいなみだ	1	
	「ありがとう」の言葉	1	
	ナシの実	1	
	ぼくのへんしん	1	
	じいちゃんが教えてくれたこ	1	2 主として他の人とのかかわりに関すること。 (1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。 (2) 相手のことを思いやり、親切にする。 (3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。 (4) 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。
	点字メニューにちょうせん	1	
	危険ですガラスが入っていま	1	
	とべないホテル	1	
	うめのき村の四人兄弟	1	
	一ぴきのセミに「ありがと	1	3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。 (1) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。 (2) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。 (3) 美しいものや気高いものに感動する心をもつ。
	ごみを食べた生きものたち	1	
	日曜日のバーベキュー	1	
	ふろしき	1	
	ぼくの部屋	1	
	お母さんのせいきゅう書	1	4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。 (1) 約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。 (2) 働くことの大切さを知り、進んで働く。 (3) 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。 (4) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくる。 (5) 郷土の文化と伝統を大切に、郷土を愛する心をもつ。 (6) 我が国の文化と伝統に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。
後期	ごめんね、サリー	1	
	しょうぼうだんのおじさん	1	
	できることから	1	
	ぼくらだってオーケストラ	1	
	ひびが入った水そう	1	
	ふるさとを守る大イチョウ	1	
	アルバムの中の学校	1	
	なにかお手伝いできることはあ	1	
	花さき山	1	
	バルバオの木	1	
	いなくなったライチョウ	1	
	親切な方へ	1	
	友達だから～ゆうたのまよい	1	
	千春とわたし	1	
	大きな絵はがき	1	
	いつかにじをかける	1	
年老いた旅人	1		
おもちゃもリサイクル	1		
走れ江ノ電光の中へ	1		
年間授業時数		35	

評価について

- ・道徳教育における評価は、教師が児童の成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し、勇気づける働きをもつものです。授業中の児童の発言、生活の様子日記、作文、心のノートなどで道徳性の共感的理解に努め、その結果を授業に生かすようにしています。
- ・道徳性の評価は、広い視野に立って、多面的に長い目で多くの人々の協力を得て行います。また、全体の評価と個人評価に努めています。

保護者の方へ

- ・副読本や「心のノート」などを資料として授業を進めていきます。
- ・学校では具体的な文章や絵をもとにして、子どもたちがどのような考え方・感じ方をして生活しているかを考え、話し合っ、一人一人の子どもの心を耕していこうと努力しています。家庭でも子どもたちが道徳の学習したことについて、話していただくことがあれば、積極的に話し合っ、いただきたいと思います。